

5がつうまれのおともだち  
おたんじょうび おめでとうございます

この季節、福光青葉幼稚園には大きなこいのぼりが現れます。また子どもたちの手に小さなこいのぼりが握られ、園庭を駆け回る様子も見ることができます。こいのぼりは中国の故事「登竜門」にちなんで「どんな環境にも耐え、立派に成長するように」との願いが込められているそうです。なるほど、こいのぼりは必ず逆風によってたなびきますね。しかしだからと言って、逆風となる苦しみだけが人を成長させるものではありません。聖書において風と言えば「聖霊様」を意味しています。神様の御心、神さまの力とも言い換えることができます。イエスさまの弟子たちは聖霊様の導きで様々な困難に遭うことがあるのですが、その出所が愛の神様だと知っていました。ただの苦しみではなく、自分を成長させるために愛によって与えられた試練。ですから、必ずクリアすることができますと信じ、どんな困難にも勇気をもって立ち向かうことができたのです。そして、そのそばにはいつもイエスさまの祈りと助けがありました。子どもたちも神さまの愛の風によって豊かに成長することができますように。



★5月生まれのお友だちのお誕生会を5月19日(水)を予定しています。

今年度も園児のみでお誕生のお祝いを致します。

★これからも神様に守られて健やかに 心も体も大きくなりますようにお祈りしています。

子どもたちの「甘える壺」①

すべての子どもたちは、心の中に「甘える壺」を持っています。

下の子ども、上の子ども、誰だって甘えたいのです。

大人だって、誰かに甘えることができたら、

心が満たされて幸せな気持ちになるでしょう。

その甘える壺の形は、一人ひとり違ってきます。

下の子の甘える壺の形は、一番下としていつも甘えることができますので、生まれたときから大きくなるまで、同じような大きさでしょう。

一方、上の子は最初お母さんを独占していますから、とても大きいのですが、下の子が生まれることで、どうしても一度小さくなります。

しかし、人生の流れの中で、再び大きくなることもあるでしょう。

きっと、甘える壺は形こそ違え、最終的な大きさ、容量は、

みんな似たりよったりなのだろうと思います。

つまり、甘えることは誰にとっても大切なことなのです。

この甘える壺を満たしてあげるのは、お母さんが一番です。

お父さんや他の家族の協力があれば、

子どもたちの甘える壺を容易に満たしてあげることができます。

引用 「だかのわ 多賀先生のあったか子育てアドバイス」 心力舎

多賀千之

多賀千之・安藤梢 編著